

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	グループホームでは出入り口であるエレベーターを暗証番号式でしか解錠できない状況である。また、1階玄関は通所事業所となっており人の出入りが多いため、施錠している。施錠により利用者様の自由がきかない環境の改善を課題とする。	入居者様の抑圧感を取り除けるように他部署との連携を図り、また協力を得ながらロック解除に努める。	現在、ロック解除に向けて他部署の職員と利用者様がお互いの顔を覚える事から始める為に回覧板を作成。全部署が馴染みの関係を構築し出入りの際にどこの誰かが分かるように取り組んでいる段階である。時期をみてロック解除を実施※施錠している事で安心されているご家族様への同意と理解を得る	2~3ヶ月
2	35	消防署の指導を受け、地域の方と合同で年2回以上に災害想定訓練を実施し消防設備も整った状況ではあるが備蓄に関しては同一法人である敷地外の建物にしか準備ができていない現状。	事業所独自での備蓄の常備。	利用者様の人数に応じた非常用食料や飲料水、防寒具など、置くスペースを工夫して常備する。	2ヶ月
3	41	朝食と夕食は献立から考え、買い物、調理を職員と利用者様で行っている。毎回使用する食材の量は測っているがカロリー摂取量を計算することも今後の課題とする。	定期的に提供している食事のカロリー摂取量を計算し利用者様の健康管理に努める。	①地域の保健所に参考資料を依頼しそれをもとに定期的にカロリー計算をする習慣をつける。 ②同一法人内の栄養士に依頼し定期的に研修を開催する。	2月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。